

彙報

弘法大師著作研究部門

御遺告聞書

一帖 天正2年写

(以上律宗戒学院三宝藏)
(武内孝善・木下良範)

二 天理図書館 (6・19、
20、26、27)
三教指導
三巻合一帖 仁平4年写 160・4・イ・11
(山陰加春夫)

三 高野山宝龕院 (7・9)

付法伝
一帖 鎌倉時代写
(武内孝善・木下良範)

四 京都国立博物館 (7・10)

御請來目録 (国宝、伝教大師筆)
真言付法伝 (重文)

一卷 平安初期写
一卷 平安後期写
(右二部、東寺所蔵聖教)
(武内孝善・木下良範)

今回、ここに昭和六十二年度から平成元年度までの三ヶ年間に調査蒐集した典籍リストを掲載し、当部門の活動の一端を報告します。最後になりましたが、調査にあたり御協力たまわりました、唐招提寺・天理図書館・京都国立博物館・醍醐寺・東寺・石山寺・高山寺・お茶の水図書館・大谷大学図書館・阪本龍門文庫・高野山宝龕院・同普門院・同靈宝館の関係各位に、改めて甚深の謝意を申し上げます。

昭和六十二年度

一 唐招提寺 (6・11・13)

一帖 平安後期写

真言付法伝
御遺告 (二十五ヶ条)

一帖 平安後期写
一帖 鎌倉時代写

(武内孝善・木下良範)

六 天理図書館 (7・20~25)

三教指導
三巻合一帖 仁平4年写

中下合一帖 建保6年写

(山陰加春夫)

大般若経巻第二百六十二
釈摩訶衍論指事
秘密付法抄上庄沢

一帖 平安後期写
一卷 弘仁9年写
一帖 鎌倉後期写
一帖 南北朝時代写

(以上森本孝順長老御影堂奉納分)

御遺告 (二十五ヶ条)
御遺告紙疑抄末・末余

二帖 鎌倉時代写
二帖 永禄4年写

- 昭和 62・63・平成元年度寄贈図書及び交換寄贈雑誌目録

以下の寄贈図書及び交換誌は昭和六十二年四月より平成二年三月末までの間に登録したもので、当研究所の図書充実のために関係諸機関ならびに関係諸氏には今後とも御協力と御支援をお願い申し上げます。

寄贈図書

 - 『アメリカ黒人抵抗史』 ブラボート・チャーミバース著 岡田泰行訳
（明石書店 昭和62年8月） 藤田光寛殿
 - 『生かせいのち』 第2輯 松長有慶著
（補陀洛院 平成元年7月） 著者殿
 - 『石山寺藏源氏物語絵展』 思文閣美術館編
（思文閣美術館 昭和62年7月） 発行所殿
 - 『イタリア・ルネッサンスの諸相－演劇・文化・思想の展開－』 中央大学人文学研究所編
（中央大学出版部 平成元年4月） 同研究所殿
 - 『いのち－生命の尊さを考える－』 蓮生善隆・金岡秀友監修
（太陽出版 平成元年7月） 真言宗善通寺派青年会殿
 - 『祈りの塔』 上巻 金光教三宅歳雄師の魂 増田英機編著
（和賀心会 昭和63年9月）
 - 『祈りの塔』 中巻 三宅歳雄師の「宗教と平和」 増田英樹編著
（和賀心会 昭和63年9月） 以上増田英樹殿
 - 『英國十八世紀の詩人と文化』 中央大学人文学研究所編
（中央大学出版部 昭和63年3月） 同研究所殿
 - 『太田家古文書目録』 神宮文庫編
（神宮文庫 昭和62年7月） 発行所殿
 - 『第9回高野山大寶蔵展』
『第10回高野山大寶蔵展』 特別公開 高松宮御下賜美術品 国宝金銀字一切経
（昭和63年8月）
 - 『光明真言土砂加持秘法』 邑久郡土砂加持結衆所用 稲谷祐祐著
（正通寺 平成元年4月） 著者殿
 - 『第8回高野山靈宝展』 経繪の美術 国宝金銀字一切経
（昭和62年1月）
 - 『高校生の主張』 10 毎日新聞社編
（毎日新聞社 昭和63年1月） 以上靈友会殿
 - 『後期密教の研究』 上 梅尾祥雲全集 別巻4
『後期密教の研究』 下 梅尾祥雲全集 別巻4 梅尾祥雲著
（臨川書店 平成元年11月） 以上堀内寛仁殿
 - 『堅室著書一覧』 囲部春平著述目録 高倉一紀著
（皇學館大学神道研究所 昭和62年3月） 発行所殿
 - 『京畿内莊園の史料データベース作成と歴史地理学的研究』 東京大学史料編纂所編
（中央大学出版部 昭和62年3月） 同研究所殿
 - 『休祥坊の三名刹』 万善・昭成・崇福 長安寺院史の歴史地理的考察 小野勝年著
（同史料編纂所 平成元年3月） 発行所殿
 - 『『堅室著書一覧』 囲部春平著述目録』 高倉一紀著
（同史料編纂所 平成元年3月） 発行所殿
 - 『『後期密教の研究』 上 梅尾祥雲全集 別巻4』
『後期密教の研究』 下 梅尾祥雲全集 別巻4 梅尾祥雲著
（昭和62年1月）
 - 『かづらぎ町史』 近世史料編
（かづらぎ町史編集委員会編 昭和63年7月） 発行所殿
 - 『仮名書き法華経』 影印編 上巻 中田祝夫編
（昭和63年3月）
 - 『仮名書き法華経』 影印編 下巻 中田祝夫編
（昭和63年3月）
 - 『仮名書き法華経』 翻字篇 中田祝夫編
（靈友会 平成元年11月） 以上発行所殿
 - 『願心』 わが人生を語る 葉上照澄著
（法藏館 昭和63年7月） 東南寺殿
 - 『希望と幻滅の軌跡－反ファシズム文化運動－』 中央大学人文科学研究所編
（中央大学出版部 昭和62年3月） 同研究所殿
 - 『休祥坊の三名刹』 万善・昭成・崇福 長安寺院史の歴史地理的考察 小野勝年著
（同史料編纂所 平成元年3月） 発行所殿
 - 『京畿内莊園の史料データベース作成と歴史地理学的研究』 東京大学史料編纂所編
（中央大学出版部 昭和62年3月） 同研究所殿
 - 『『休祥坊の三名刹』 万善・昭成・崇福 長安寺院史の歴史地理的考察』 小野勝年著
（同史料編纂所 平成元年3月） 発行所殿

大童子像▽ 高野山靈宝館編

(高野山靈宝館)

平成元年8月
以上発行所殿

国際シンポジウム1『国際日本文化研究センター編
（同研究センター 平成元

(同研究センター
平成元年2月)

- 『「五・四」運動研究史シンポジウム記録』中央大学人文科学研究所編
(中央大学出版部 昭和63年7月) 同研究所殿
 - 『修身教授録—現代に甦る人間学の要諦—』森信三著
(竹井出版 平成元年3月) 藤田光寛殿
 - 『修驗道のこころ—在家仏教のすすめ—』五條順教著
(朱鷺書房 昭和58年3月) 第一印刷殿
 - 『声明資料展講式解題目録』福島和夫著
(上野学園日本音楽資料室 昭和59年11月)
 - 『声明資料展特集声明集出陳録』福島和夫著
(上野学園日本音楽資料室 昭和57年12月) 以上発行所殿
 - 『書庫の管理—図書館資料の配架と整備—』ウイリアムJ・ハード著
(勁草書房 昭和62年9月) 藤田光寛殿
 - 『白石真道仏教学論文集』白石真道著
(白石壽子 昭和63年12月) 白石壽子殿
 - 『神仙の人 出口日出麿』出口斎編
(講談社 平成元年10月) 大本本部殿
 - 『寺院什物調査報告書—真言・淨土—』(稻沢市史資料 第二十三編)
(稻沢市史編纂委員会編)
 - 『上越教育大学所蔵黄壁鐵眼版一切経目録』上越教育大学附属図書館編
(同図書館 昭和63年3月) 発行所殿
 - 『淨土三部經 仏說阿弥陀經』研究会 武藏野女子大学仏教文化研究所編
(同研究所 平成元年3月) 発行所殿
 - 『生活のなかの仏教』吉田宏智著
(眞言宗智山派宗務庁 昭和62年3月) 発行所殿
 - 『世界の中の日本 1八日本研究のパラダイム』日本学と日本研究一
(同委員会 昭和62年3月)
 - 『五・四』運動研究史シンポジウム記録 中央大学人文科学研究所編
(中央大学出版部 昭和63年7月) 同研究所殿
 - 『禪宗寺院の美術』(第十一回稲沢の文化財展) 稲沢市教育委員会編
(稲沢市教育委員会 昭和62年11月) 愛申昇寛殿
 - 『飛鳥文化』大倉精神文化研究所編
(国書刊行会 平成元年2月) 同研究所殿
 - 『高幡山金剛寺典籍・聖教文書目録』日野高幡不動(金剛寺) 文化財集中
調査団編
(日野市教育委員会 昭和63年3月) 発行所殿
 - 『タントラ 東洋の知恵』アジット・ムケルジー著
(新潮社 昭和63年3月) 松長有慶訳
 - 『大学における専門教育の問題点—専門教育研究委員会中間報告—』
刈田草一著
(勁大学基準協会 昭和60年3月) 発行所殿
 - 『大師の教えと社会福祉』高木謹元・内海有昭著
(高野山眞言宗教学部 昭和62年2月) 発行所殿
 - 『太神宮諸雑事記』神宮文庫編
(神宮文庫 平成元年3月) 発行所殿
 - 『大日經疏の中の法華教學』
(立正大学大学院紀要第2号抜刷 昭和61年2月)
 - 『大日經疏の中の法華教學(続)』浅井圓道著
(立正大学大学院紀要第3号抜刷 昭和62年2月) 以上著者殿
 - 『陀羅尼思想の研究』氏家覺勝著
(東方出版 昭和62年11月) 氏家純子殿
 - 『智山教化資料』第15集 文書伝道の手引—寺だよりと掲示伝道—
小室裕充著
(眞言宗智山派宗務庁 昭和62年3月) 発行所殿
 - 『チベット密教』チベット密教展実行委員会編
(同委員会 昭和62年3月)
 - 『五・四』運動研究史シンポジウム記録 中央大学人文科学研究所編
(中央大学出版部 昭和63年7月) 同研究所殿
 - 『禪宗寺院の美術』(第十一回稲沢の文化財展) 稲沢市教育委員会編
(稲沢市教育委員会 昭和62年11月) 愛申昇寛殿
 - 『飛鳥文化』大倉精神文化研究所編
(国書刊行会 平成元年2月) 同研究所殿
 - 『高幡山金剛寺典籍・聖教文書目録』日野高幡不動(金剛寺) 文化財集中
調査団編
(日野市教育委員会 昭和63年3月) 発行所殿
 - 『タントラ 東洋の知恵』アジット・ムケルジー著
(新潮社 昭和63年3月) 松長有慶訳
 - 『大学における専門教育の問題点—専門教育研究委員会中間報告—』
刈田草一著
(勁大学基準協会 昭和60年3月) 発行所殿
 - 『大師の教えと社会福祉』高木謹元・内海有昭著
(高野山眞言宗教学部 昭和62年2月) 発行所殿
 - 『太神宮諸雑事記』神宮文庫編
(神宮文庫 平成元年3月) 発行所殿
 - 『大日經疏の中の法華教學』
(立正大学大学院紀要第2号抜刷 昭和61年2月)
 - 『大日經疏の中の法華教學(続)』浅井圓道著
(立正大学大学院紀要第3号抜刷 昭和62年2月) 以上著者殿
 - 『陀羅尼思想の研究』氏家覺勝著
(東方出版 昭和62年11月) 氏家純子殿
 - 『智山教化資料』第15集 文書伝道の手引—寺だよりと掲示伝道—
小室裕充著
(眞言宗智山派宗務庁 昭和62年3月) 発行所殿
 - 『チベット密教』チベット密教展実行委員会編
(同委員会 昭和62年3月)

- 『図書館における郷土資料整理法』長澤規矩著
(汲古書院 昭和52年10月)著者殿
- 『特別論文集 いのちの原点—仏教からみた生命とは—』中央学術研究所編
(同研究所 昭和63年5月)発行所殿
- 『中野義照先生追悼集』日本印度学会編
(高野山大学内日本印度学会 平成元年1月)発行所殿
- 『日本の音楽資料 (Post card)―声明―』上野学園日本音楽資料室編
(上野学園日本音楽資料室)発行所殿
- 『日本の底流△過去・現在の世相 第3号△』日本の底流編
(日本の底流 平成元年春)発行所殿
- 『入門仏事・法要の常識』佐伯快勝著
(朱鷺書房 昭和57年10月)第一印刷殿
- 『脳死再論』立花隆著
(中央公論社 昭和53年12月)壽山良知殿
- 『抜萃のつづり』熊平製作所編
(熊平製作所 平成2年1月)発行所殿
- 『仏教遺跡ボロブドールの研究』宇治谷祐顯著
(アジア文化交流センター 昭和62年7月)発行所殿
- 『仏教の現代と未来を語る—松長有慶先生還暦記念シンポジウム』
松長有慶著
(松長有慶 平成元年7月)著者殿
- 『仏教の思想△上▽』海原猛著
(角川書店 昭和62年5月)小堀裕弘殿
- 『ブディスト 30』
『ブディスト 31』FAS協会編
(昭和62年10月)
- 『文鏡秘府論△一』元禄頃刊 後刷▽
『文鏡秘府論△二』元禄頃刊 後刷▽
- 『文鏡秘府論△三』元禄頃刊 後刷▽
(書籍経類版行所・山城屋) 小川美彦殿
- 『辯顯密一教論』の解説 那須政隆著
(成田山仏教研究所 昭和62年6月)発行所殿
- 『法華経菩薩思想の基礎』久保継成著
(春秋社 昭和62年2月)国際仏教学研究所殿
- 『堀内寛仁先生喜寿記念 密教文化論集刊行会編』
『堀内寛仁先生喜寿記念 密教文化論集刊行会編』
(同刊行会 平成元年3月)
- 『本源への回帰—21世紀へいざなう大師の教え—』高木紳元著
(高野山青年教師会 平成元年8月)著者殿
- 『万徳寺什物調査報告書』(稻沢市史資料 第二十二編)稻沢市史編纂委員会編
(稻沢市教育委員会 昭和62年1月)
- 『万徳寺聖教類目録』稻沢市教育委員会編
(稻沢市教育委員会 昭和63年11月)以上愛甲昇寛殿
- 『マンダラ探検—チベット仏教踏查—』佐藤健著
(中央公論社・中公文庫 昭和63年10月)松長有慶殿
- 『三井寺秘仏特別開扉』園城寺教学部編
(園城寺教学部 昭和48年11月)星宮智光殿
- 『民衆文化の構成と展開—遠野物語から民衆的イベントへ—』中央大学人文学研究所編
(中央大学出版部 平成元年4月)同研究所殿
- 『唯識十章』多川俊映著
(春秋社 平成元年4月)甲田博史殿
- 『甦るボロブドール』アジア文化交流センター編
(同センター 昭和62年7月)発行所殿
- 『靈友会史資料△一一一』第一編 創立者▽
(昭和63年1月)

- | | | | | |
|----------------------------|---------------------|--------------------------------------|---------------|------------|
| 5 かがみ△特別号 | わが国における書籍蒐藏の歴史（前篇）▽ | 川瀬一馬監修 | 岡崎久司編（大東急記念文庫 | 昭和62年3月) |
| 6 神奈川大学日本常民文化研究所調査報告△第12集▽ | （昭和62年11月） | 神奈川大学日本常民文化研究所調査報告△第13集▽ | （昭和63年10月） | （昭和63年10月） |
| 神奈川大学日本常民文化研究所調査報告△第14集▽ | （昭和63年10月） | 和歌山大学紀州経済史文化史研究所編（同研究所 | 平成元年3月) | （昭和62年3月) |
| 和歌山大学紀州経済史文化史研究所編（同研究所 | （昭和62年12月） | 高野山大学論叢△第24巻▽高野山大学編 | （同大学 | （昭和63年2月） |
| （同研究所 | （昭和63年3月） | （昭和63年3月） | （昭和62年8月） | （昭和63年3月） |
| 8 紀要△第13号▽ | （昭和62年12月） | 高野山大学論叢△第23巻▽ | （同大学 | （昭和63年2月） |
| （同研究所 | （昭和63年3月） | （昭和63年3月） | （昭和62年8月） | （昭和63年3月） |
| 9 教化研修△第30号▽ | （昭和62年3月） | 17 国際日本文学研究集会会議録△第10回▽ | （同大学 | （昭和63年2月） |
| （同研究所 | （昭和63年3月） | （昭和63年3月） | （昭和62年8月） | （昭和63年3月） |
| 10 研究紀要△第24集▽ | （昭和61年12月） | 18 国士館大学文学部人文学会紀要△第22号▽国士館大学文学部人文学会編 | （同大学 | （昭和63年2月） |
| （同研究所 | （昭和62年12月） | （同大学 | （昭和62年2月） | （昭和63年2月） |
| 研究紀要△第25集▽ | （昭和62年12月） | 19 宗教文化研究所紀要△第4号▽ | （同学会 | （昭和63年2月） |
| （同研究所 | （昭和63年12月） | （宗教文化研究所紀要△第5号▽ | （同学会 | （昭和62年10月） |
| 研究紀要△第26集▽光華女子大学編 | （昭和63年12月） | （宗教文化研究所紀要△第6号▽ | （昭和63年7月） | （昭和63年3月） |
| （同大学 | （昭和64年12月） | （宗教文化研究所紀要△第7号▽国士館大学宗教文化研究所編 | （同資料館 | （昭和63年3月） |
| 研究紀要△第27集▽ | （昭和64年12月） | （同研究所 | （昭和63年3月） | （同研究所 |
| （同大学 | （昭和65年12月） | 20 史境△第14号—特集 異文化との接触—▽ | （昭和63年11月） | （昭和63年11月） |
| 研究紀要△第28集▽光華女子短期大学編 | （昭和65年12月） | （史境△第15号▽ | （昭和63年3月） | （昭和63年3月） |
| （同大学 | （昭和66年3月） | （筑波大学歴史人類学会編 | （昭和63年10月） | （昭和63年10月） |
| 研究紀要△第29集▽京都女子学園仏教研究所編 | （昭和66年3月） | （同学会 | （昭和63年10月） | （昭和63年10月） |
| （同研究所 | （昭和67年3月） | （正眼短期大学研究紀要△創刊号▽正眼短期大学編 | （同大学 | （昭和63年10月） |
| 研究紀要△創刊号▽ | （昭和67年3月） | （正眼短期大学研究紀要△第4号▽ | （昭和63年10月） | （昭和63年10月） |
| 研究紀要△第2号▽京都女子大学宗教・文化研究所編 | （昭和67年3月） | （正眼短期大学論集△第一号▽ | （昭和62年10月） | （昭和62年10月） |
| （同研究所 | （昭和68年3月） | （正眼短期大学論集△第二号▽正眼短期大学編 | （同大学 | （昭和62年10月） |
| 研究紀要△第4号別冊1▽ | （昭和68年1月） | （昭和60年度研究・活動助成報告集△第4卷▽ | （昭和62年3月） | （昭和62年3月） |
| （昭和63年3月） | （昭和62年10月） | （昭和61年度研究・活動助成報告集△第5卷▽ | （昭和63年3月） | （昭和63年3月） |
| 研究所紀要△第5号▽ | （昭和63年1月） | （昭和62年度研究・活動助成報告集△第6卷▽庭野平和財団編 | （同財団 | （昭和62年2月） |
| （同研究所 | （昭和64年1月） | （同財団 | （昭和62年2月） | （昭和62年2月） |
| 24 信愛紀要△第27号▽ | （昭和64年1月） | （昭和62年2月） | （昭和62年2月） | （昭和62年2月） |

- 信愛紀要△第28号▽
信愛紀要△第29号▽和歌山信愛女子短期大学学術研究会編
(昭和63年2月)
- 25 人文研紀要△第6号▽
(昭和62年7月)
- 人文研紀要△第7号▽
(昭和63年7月)
- 人文研紀要△第8号▽
(昭和63年7月)
- 人文研紀要△第9号▽中央大学人文科学研究所編
(同研究所)
- 26 西山学報△第35号▽
(昭和62年7月)
- 西山学報△第36号▽
(昭和63年3月)
- 西山学報△第37号▽西山短期大学編
(同大学)
- 27 禅研究所紀要△第15号▽
(昭和62年3月)
- 禅研究所紀要△第16号▽愛知学院大学禅研究所編(同研究所)
(昭和63年3月)
- 28 智山学報△第28輯▽
(昭和63年3月)
- 中央学術研究所紀要△第17号▽
(昭和63年3月)
- 智山学報△第29輯▽大正大学真言学智山研究室編
(智山勸学会)
- 29 中央学術研究所紀要△第18号 創立20周年記念号▽
(昭和63年7月)
- 中央学術研究所紀要△第19号▽創立20周年記念号▽中央学術研究所編
(昭和63年7月)
- 中央学術研究所20年の歩み△創立20周年記念号▽中央学術研究所編
(同研究所)
- 30 中央大学人文科学研究所事業報告書△1986▽
(昭和62年3月)
- 中央大学人文科学研究所事業報告書△1987▽
(昭和63年3月)
- 中央大学人文科学研究所事業報告書△1988▽中央大学人文科学研究所編
(同研究所)
- 31 中國学導報△1▽
(昭和62年)
- 中國学導報△2▽中國文化書院編
(同書院)
- 32 筑紫女子短期大学紀要△第22号▽
(昭和62年3月)
- 筑紫女子短期大学紀要△第23号▽
(昭和63年1月)
- 筑紫女子学園短期大学紀要△第25号▽筑紫女子学園短期大学編
(同大学)
- 33 筑紫女子学園大学紀要△第2号▽筑紫女子学園大学編(同大学)
(昭和62年1月)
- 34 天台学報△第29号▽
(昭和62年10月)
- 天台学報△第30号▽
(昭和63年10月)
- 天台学報△第31号▽天台学会編
(同学会)
- 35 東京大学史料編纂所報△第21号▽
(昭和63年3月)
- 東京大学史料編纂所報△第22号▽
(昭和63年3月)
- 東京大学史料編纂所報△第23号▽東京大学史料編纂所編
(同史料編纂所)
- 36 東京立正女子短期大学紀要△第17号▽東京立正女子短期大学編
(同大学)
- 37 東洋学論叢△東洋大学文学部紀要 第40集▽
(昭和62年3月)
- 東洋学論叢△東洋大学文学部紀要 第41集▽
(昭和63年3月)
- 東洋学論叢△東洋大学文学部紀要 第42集▽東洋大学文学部編
(同文学部)
- 38 東洋文化学科年報△第2号▽追手門学院大学文学部東洋文化学科編
(同学科)
- 39 同朋学園仏教文化研究所紀要△第9号▽
(同研究所)
- 同朋学園仏教文化研究所紀要△第11号▽同朋学園仏教文化研究所編
(同研究所)
- 40 同朋仏教△第22号▽
(昭和62年12月)
- 同朋仏教△第23号▽
(昭和63年7月)
- 同朋仏教△第24号▽同朋大学仏教学会編
(同学会)
- 41 成田山仏教研究所紀要△第10号▽
(昭和62年3月)
- 成田山仏教研究所紀要△第11号『仏教思想史論集』1▽
(昭和63年3月)
- 成田山仏教研究所紀要△第11号『仏教思想史論集』2▽
(昭和63年3月)

密教文化△第62号▽高野山大学密教研究会編

(同研究会 昭和63年3月)

(平成元年4月)

- 59 民具マンスリー△第19卷 1号▽
 民具マンスリー△第19卷 10号▽
 (昭和62年1月)
 民具マンスリー△第19卷 11号▽
 (昭和62年2月)
 民具マンスリー△第19卷 12号▽
 (昭和62年3月)
 民具マンスリー△第20卷 1号▽
 (昭和62年4月)
 民具マンスリー△第20卷 2号▽
 (昭和62年5月)
 民具マンスリー△第20卷 3号▽
 (昭和62年6月)
 民具マンスリー△第20卷 4号▽
 (昭和62年7月)
 民具マンスリー△第20卷 5号▽
 (昭和62年8月)
 民具マンスリー△第20卷 6号▽
 (昭和62年9月)
 民具マンスリー△第20卷 7号▽
 (昭和62年10月)
 民具マンスリー△第20卷 8号▽
 (昭和62年11月)
 民具マンスリー△第20卷 9号▽
 (昭和62年12月)
 民具マンスリー△第20卷 10号▽
 (昭和63年1月)
 民具マンスリー△第20卷 11号▽
 (昭和63年2月)
 民具マンスリー△第20卷 12号▽
 (昭和63年3月)
 民具マンスリー△第21卷 1号▽
 (昭和63年4月)
 民具マンスリー△第21卷 2号▽
 (昭和63年5月)
 民具マンスリー△第21卷 3号▽
 (昭和63年6月)
 民具マンスリー△第21卷 4号▽
 (昭和63年7月)
 民具マンスリー△第21卷 5号▽
 (昭和63年8月)
 民具マンスリー△第21卷 6号▽
 (昭和63年9月)
 民具マンスリー△第21卷 7号▽
 (昭和63年10月)
 民具マンスリー△第21卷 8号▽
 (昭和63年11月)
 民具マンスリー△第21卷 9号▽
 (昭和63年12月)
 民具マンスリー△第21卷 10号▽
 (平成元年1月)
 民具マンスリー△第21卷 11号▽
 (平成元年2月)
 民具マンスリー△第21卷 12号▽

(平成元年5月)
 (平成元年6月)
 (平成元年7月)
 (平成元年8月)
 (平成元年9月)
 (平成元年10月)

民具マンスリー△第22卷 1号▽
 民具マンスリー△第22卷 2号▽
 民具マンスリー△第22卷 3号▽
 民具マンスリー△第22卷 4号▽
 民具マンスリー△第22卷 5号▽
 民具マンスリー△第22卷 6号▽
 民具マンスリー△第22卷 7号▽

(平成元年4月)
 (平成元年5月)
 (平成元年6月)
 (平成元年7月)
 (平成元年8月)

- 60 武藏野女子大学仏教文化研究所紀要△No.5▽
 武藏野女子大学仏教文化研究所紀要△No.6▽
 武藏野女子大学仏教文化研究所紀要△No.7▽

(同研究所 平成元年11月)
 (昭和62年3月)
 (昭和63年3月)
 (平成元年3月)

武藏野女子大学仏教文化研究所紀要△No.8▽
 武藏野女子大学仏教文化研究所編 (同研究所 平成2年3月)

(昭和62年12月)
 (昭和63年3月)
 (昭和63年10月)
 (平成元年3月)

- 61 龍谷史壇△第90号▽
 龍谷史壇△第91号▽
 龍谷史壇△第92号▽
 龍谷史壇△第93号▽
 龍谷史壇△第95号▽
 龍谷大学史学論集△第434・435合併号▽
 龍谷史学論集△第434・435合併号▽

(同学会 平成元年10月)
 (同学会 平成元年11月)
 (昭和62年6月)
 (昭和63年7月)
 (昭和63年8月)
 (昭和63年9月)
 (昭和63年10月)
 (昭和63年11月)
 (昭和63年12月)

歴史と民俗△3▽(神奈川大学日本常民文化研究所論集3)
 歴史と民俗△4▽(神奈川大学日本常民文化研究所論集4)

(昭和63年7月)
 (昭和63年8月)
 (昭和63年9月)
 (昭和63年10月)
 (昭和63年11月)
 (昭和63年12月)

- 62 龍谷大学論集△第434・435合併号▽
 龍谷史学論集△第434・435合併号▽
 神奈川大学日本常民文化研究所論集△第434・435合併号▽
 神奈川大学日本常民文化研究所論集△第434・435合併号▽

(同学会 平成元年10月)
 (同学会 平成元年11月)
 (昭和62年6月)
 (昭和63年7月)
 (昭和63年8月)
 (昭和63年9月)
 (昭和63年10月)
 (昭和63年11月)
 (昭和63年12月)

歴史と民俗△3▽(神奈川大学日本常民文化研究所論集3)
 歴史と民俗△4▽(神奈川大学日本常民文化研究所論集4)

(昭和63年7月)
 (昭和63年8月)
 (昭和63年9月)
 (昭和63年10月)
 (昭和63年11月)
 (昭和63年12月)

- 64 Tenri Journal of Religion, No. 21
 Tenri Journal of Religion, No. 22

The Theological Perspectives of Tenrikyo

(天理大学出版局 平成元年)

密教文化研究所規定

第一章 名称及び所属

この研究所は密教文化研究所と名づける。

第二条 この研究所は学校教育法第六十一条及び高野山大学学則第一七条第二項に基づき高野山大学内に設ける。

第三条 第二章 目的及び事業

この研究所は真言密教の蘊奥を究め、これを顕揚すると共に現在の社会に貢献するを以って目的とする。

第四条 第三条の目的を達成するための次の事業を行う。

- ① 研究の指導及び助成
- ② 研究及び研究成果の報告
- ③ 研究会及び講演会の開催
- ④ その他この研究所の目的達成に必要な事項

第五条 第二章 組織

この研究所の構成員を次のとおりとする。

① 所長	一名	② 副所長	一名
③ 教授	若干名	④ 助教授	若干名
⑤ 講師	若干名	⑥ 助手	若干名
⑦ 研究員	若干名	⑧ 事務局長	一名

第六条 第二章 事務職員

所長及び副所長は学長が選任し、理事会の承認を経て理事長がこれを委嘱する。

- 2 教授・助教授・講師・助手（以下教員）の新任及び昇補は、教員の新任及び昇補に関する規程に従い、学長の具申により理事長が承認の上これを任命する。
- 3 前項の規程は、別にこれを定める。
- 4 研究員は所長が学長と合議の上これを委嘱・任命する。
- 5 事務局長は高野山大学学監がこれにあたる。

- 6 所長・副所長・助手の任期は三年とし、研究員の任期は一年と

第八条

所長はこの研究所を総攬しこれを代表する。副所長は所長を補佐し所長事故ある時はその職務を代理する。教授・助教授・講師・助手は各年度の研究課題に従い所長の命を受けて研究に従事する。

研究員は所長の依頼を受けて、特定の研究に従事する。
事務局長はこの研究所の会計・庶務等の事務を掌理する。事務職員はこの研究所の事務に従事する。

第九条 第二章 教授会

第十一条 第二章 教授会

第十二条 第二章 顧問及び贊助員

第十三条 第二章 会計

第十四条 第二章 費用

第十五条 第二章 規定の改廃

第十六条 第二章 附則

第十七条 第二章 附則

第十八条 第二章 附則

第十九条 第二章 附則

第二十条 第二章 附則

第二十一条 第二章 附則

第二十二条 第二章 附則

第二十三条 第二章 附則

第二十四条 第二章 附則

第二十五条 第二章 附則

第二十六条 第二章 附則

第二十七条 第二章 附則

第二十八条 第二章 附則

第二十九条 第二章 附則

第三十条 第二章 附則

第三十一条 第二章 附則

第三十二条 第二章 附則

第三十三条 第二章 附則

第三十四条 第二章 附則

第三十五条 第二章 附則

第三十六条 第二章 附則

第三十七条 第二章 附則

第三十八条 第二章 附則

第三十九条 第二章 附則

第四十条 第二章 附則

第四十一条 第二章 附則

第四十二条 第二章 附則

第四十三条 第二章 附則

第四十四条 第二章 附則

第四十五条 第二章 附則

第四十六条 第二章 附則

第四十七条 第二章 附則

第四十八条 第二章 附則

第四十九条 第二章 附則

第五十条 第二章 附則

第五十一条 第二章 附則

第五十二条 第二章 附則

第五十三条 第二章 附則

第五十四条 第二章 附則

第五十五条 第二章 附則

第五十六条 第二章 附則

第五十七条 第二章 附則

第五十八条 第二章 附則

第五十九条 第二章 附則

第六十条 第二章 附則

第六十一条 第二章 附則

第六十二条 第二章 附則

第六十三条 第二章 附則

第六十四条 第二章 附則

第六十五条 第二章 附則

第六十六条 第二章 附則

第六十七条 第二章 附則

第六十八条 第二章 附則

第六十九条 第二章 附則

第七十条 第二章 附則

第七十一条 第二章 附則

第七十二条 第二章 附則

第七十三条 第二章 附則

第七十四条 第二章 附則

第七十五条 第二章 附則

第七十六条 第二章 附則

第七十七条 第二章 附則

第七十八条 第二章 附則

第七十九条 第二章 附則

第八十条 第二章 附則

第八十一条 第二章 附則

第八十二条 第二章 附則

第八十三条 第二章 附則

第八十四条 第二章 附則

第八十五条 第二章 附則

第八十六条 第二章 附則

第八十七条 第二章 附則

第八十八条 第二章 附則

第八十九条 第二章 附則

第九十条 第二章 附則

第九十一条 第二章 附則

第九十二条 第二章 附則

第九十三条 第二章 附則

第九十四条 第二章 附則

第九十五条 第二章 附則

第九十六条 第二章 附則

第九十七条 第二章 附則

第九十八条 第二章 附則

第九十九条 第二章 附則

第一百条 第二章 附則

第一百一十条 第二章 附則

第一百二十条 第二章 附則

第一百三十条 第二章 附則

第一百四十条 第二章 附則

第一百五十条 第二章 附則

第一百六十条 第二章 附則

第一百七十条 第二章 附則

第一百八十条 第二章 附則

第一百九十条 第二章 附則

第一百二十一条 第二章 附則

第一百二十二年 第二章 附則

第一百二十三年 第二章 附則

第一百二十四年 第二章 附則

第一百二十五年 第二章 附則

第一百二十六年 第二章 附則

第一百二十七年 第二章 附則

第一百二十八年 第二章 附則

第一百二十九年 第二章 附則

第一百三十一年 第二章 附則

第一百三十二年 第二章 附則

第一百三十三年 第二章 附則

第一百三十四年 第二章 附則

第一百三十五年 第二章 附則

第一百三十六年 第二章 附則

第一百三十七年 第二章 附則

第一百三十八年 第二章 附則

第一百三十九年 第二章 附則

第一百四十一年 第二章 附則

第一百四十二年 第二章 附則

第一百四十三年 第二章 附則

第一百四十四年 第二章 附則

第一百四十五年 第二章 附則

第一百四十六年 第二章 附則

第一百四十七年 第二章 附則

第一百四十八年 第二章 附則

第一百四十九年 第二章 附則

第一百五十一年 第二章 附則

第一百五十二年 第二章 附則

第一百五十三年 第二章 附則

第一百五四年 第二章 附則

第一百五五年 第二章 附則

第一百五六年 第二章 附則

第一百五七年 第二章 附則

第一百五八年 第二章 附則

第一百五九年 第二章 附則

第一百六十一年 第二章 附則

第一百六十二年 第二章 附則

第一百六十三年 第二章 附則

第一百六四年 第二章 附則

第一百六五年 第二章 附則

第一百六六年 第二章 附則

第一百六七年 第二章 附則

第一百六八年 第二章 附則

第一百六九年 第二章 附則

第一百七十一年 第二章 附則

第一百七十二年 第二章 附則

第一百七十三年 第二章 附則

第一百七四年 第二章 附則

第一百七五年 第二章 附則

第一百七六年 第二章 附則

第一百七七年 第二章 附則

第一百七八年 第二章 附則

第一百七九年 第二章 附則

第一百八十年 第二章 附則

第一百八一年 第二章 附則

第一百八二年 第二章 附則

第一百八三年 第二章 附則

第一百八四年 第二章 附則

第一百八五年 第二章 附則

第一百八六年 第二章 附則

第一百八七年 第二章 附則

第一百八八年 第二章 附則

第一百八九年 第二章 附則

第一百九十年 第二章 附則

第一百九一年 第二章 附則

第一百九二年 第二章 附則

第一百九三年 第二章 附則

第一百九四年 第二章 附則

第一百九五年 第二章 附則

第一百九六年 第二章 附則

第一百九七年 第二章 附則

第一百九八年 第二章 附則

第一百九九年 第二章 附則

第一百二十年 第二章 附則

第一百二十一年 第二章 附則

第一百二十二年 第二章 附則

第一百二十三年 第二章 附則

第一百二十四年 第二章 附則

第一百二十五年 第二章 附則

第一百二十六年 第二章 附則

第一百二十七年 第二章 附則

第一百二十八年 第二章 附則

第一百二九年 第二章 附則

第一百三十一年 第二章 附則

第一百三十二年 第二章 附則

第一百三十三年 第二章 附則

第一百三四年 第二章 附則

第一百三五年 第二章 附則

第一百三六年 第二章 附則

第一百三七年 第二章 附則

第一百三八年 第二章 附則

第一百三九年 第二章 附則

第一百四十一年 第二章 附則

第一百四十二年 第二章 附則

第一百四十三年 第二章 附則

第一百四四年 第二章 附則

第一百四五年 第二章 附則

第一百四六年 第二章 附則

第一百四七年 第二章 附則

第一百四八年 第二章 附則

第一百四九年 第二章 附則

第一百五十一年 第二章 附則

第一百五十二年 第二章 附則

第一百五十三年 第二章 附則

第一百五四年 第二章 附則

第一百五五年 第二章 附則

第一百五六年 第二章 附則

第一百五七年 第二章 附則

第一百五八年 第二章 附則

第一百五九年 第二章 附則

第一百六十一年 第二章 附則

第一百六十二年 第二章 附則

第一百六十三年 第二章 附則

第一百六四年 第二章 附則

第一百六五年 第二章 附則

第一百六六年 第二章 附則

第一百六七年 第二章 附則

第一百六八年 第二章 附則

第一百六九年 第二章 附則

第一百七十一年 第二章 附則

第一百七十二年 第二章 附則

第一百七十三年 第二章 附則

第一百七四年 第二章 附則

第一百七五年 第二章 附則

第一百七六年 第二章 附則

第一百七七年 第二章 附則

第一百七八年 第二章 附則

第一百七九年 第二章 附則

第一百八十一年 第二章 附則

第一百八十二年 第二章 附則

第一百八十三年 第二章 附則

第一百八四年 第二章 附則

第一百八五年 第二章 附則

第一百八六年 第二章 附則

第一百八七年 第二章 附則

第一百八八年 第二章 附則

第一百八九年 第二章 附則

第一百九十一年 第二章 附則

第一百九十二年 第二章 附則

第一百九十三年 第二章 附則

第一百九四年 第二章 附則

第一百九五年 第二章 附則

第一百九六年 第二章 附則

第一百九七年 第二

執筆者紹介

編集後記

。平成二年三月、当研究所第二代所長の中川善教先生が御遷化なされました。研究所教職員一同謹んで哀悼の意を表し、御冥福をお祈りする次第であります。

松長 有慶
密教文化研究所所長
高野山大学文学部教授

村上 保壽
密教文化研究所教授

甲田 省吽
密教文化研究所職員
武内 孝善
密教文化研究所所員
高野山大学文学部助教授

乾 仁志
密教文化研究所講師

。平成二年十一月、所長の松長有慶先生が、和歌山県の文化の向上と発展に寄与された功績を評価され和歌山県文化功労賞を受賞された。また同年六月、所員の武内孝善先生が日本密教史に関する研究業績を評価され日本印度学仏教学会賞を受賞された。両先生の受賞は当研究所にとっての慶事であり、両先生の今後ますますの御活躍と御健勝をお祈りする次第であります。

。続真言宗全書編集部門は昭和六十三年三月をもって解散致しました。続真言宗全書の刊行は昭和四十八年弘法大師誕生一千二百年的記念事業の一環として計画され、同五十年一月の第一巻刊行以来十三年余り経て、同六十三年十二月の第四十二巻『開題』の刊行によって全四十二巻が無事完成しました。出版記念祝賀会の席上で故中川善教先生が「夢のよう待っていた」とおっしゃっていました続真言宗全書の刊行もおえ、これを機に、今後ますますの密教研究の進展が期待されるところであります。

。弘法大師著作研究部門において、平成二年度は東寺・仁和寺・仏教大学図書館等で聖教調査を行ない、引き続き弘法大師の御著作の関係資料を蒐集すると共に『定本弘法大師全集』全十一巻の第一回配本にむけて現在編集作業を進めています。

。研究部門においては、同和研究会の開催、弘法大師著作研究部門の密教関係聖教類の調査協力、紀要の発行、日本印度学仏教学会の論文データベース採取協力、コンピューター導入による聖教類の整理、事務処理の機械化等を行っています。

。今回の紀要には松長有慶、村上保壽、武内孝善、乾仁志、甲田省吽の諸先生の論文、目録を収録しました。前号まで一貫して収載してきました和多秀乗先生編『金剛峯寺領検注帳』も今後引き続いて収録する予定ですが、当研究所の紀要が益々充実し発展しますように、諸先生方の御協力と御支援を切にお願い申しあげます。

高野山大学密教文化研究所紀要 第四号

平成三年三月十日印刷
平成三年三月二十一日発行

編集者 密教文化研究所

代表者 松長有慶

発行所
密教文化研究所

和歌山県伊都郡高野山高野山大学
電話(0733)951-5311
● 68-101

印刷所
第一印刷出版株式会社

大阪市福島区福島七丁目十三之一
電話(06)221-7116

五三